

# 外来で難聴児を見つけるコツ

## － 特に乳幼児の特徴 －

あいち小児センター 耳鼻いんこう科

服部 琢

# 当センターでの乳幼児の聴力検査

自覚的

- ・聴性行動反応検査 B O A
- ・条件詮索反応聴力検査 C O R
- ・遊戯聴力検査 Play Audiometry

他覚的

- ・聴性脳幹反応検査 A B R
- ・聴性定常反応検査 A S S R

\* これらの検査を月齢・年齢によって組み合わせ複数の結果で判断

# 乳幼児の音への反応の特徴

BOA(聴性行動反応)閾値

11か月：	一語が出る	35dB 程度
9か月：	バイバイに反応する	40-50dB 程度
6か月：	人に向かって声を出す	
5か月：	大きな音に恐れを示す	50-60dB 程度
2か月：	Bu Bu Ku Ku を言う	
1か月：	呼びかけに反応する	70dB 程度

\* 月齢の低い乳幼児はまだ音への興味が薄く、反応は悪目にする

# (リ)ハビリテーションの目標

## 短期の目標

- －聴覚活用による音声言語の獲得。

## 長期の目標

- －聴覚活用によって獲得した音声言語を基に、コミュニケーションの世界を広げ社会適応を促進すること。

**\*家庭や療育機関での(リ)ハビリ方法を指導。**

# 両親教育と聴能言語指導

- ・ガイダンス
- ・セミナー(難聴の医学的な話)
- ・集団訓練(3～6名の小グループ)
- ・個別訓練

\*主に聴覚学習と言語学習について母親指導を中心に行っている。

# 福祉機関との連携

あいち難聴児勉強会：

愛知県下の 4 ( + 1 ) 聾学校と

2 難聴幼児通園施設との定期的な会合。

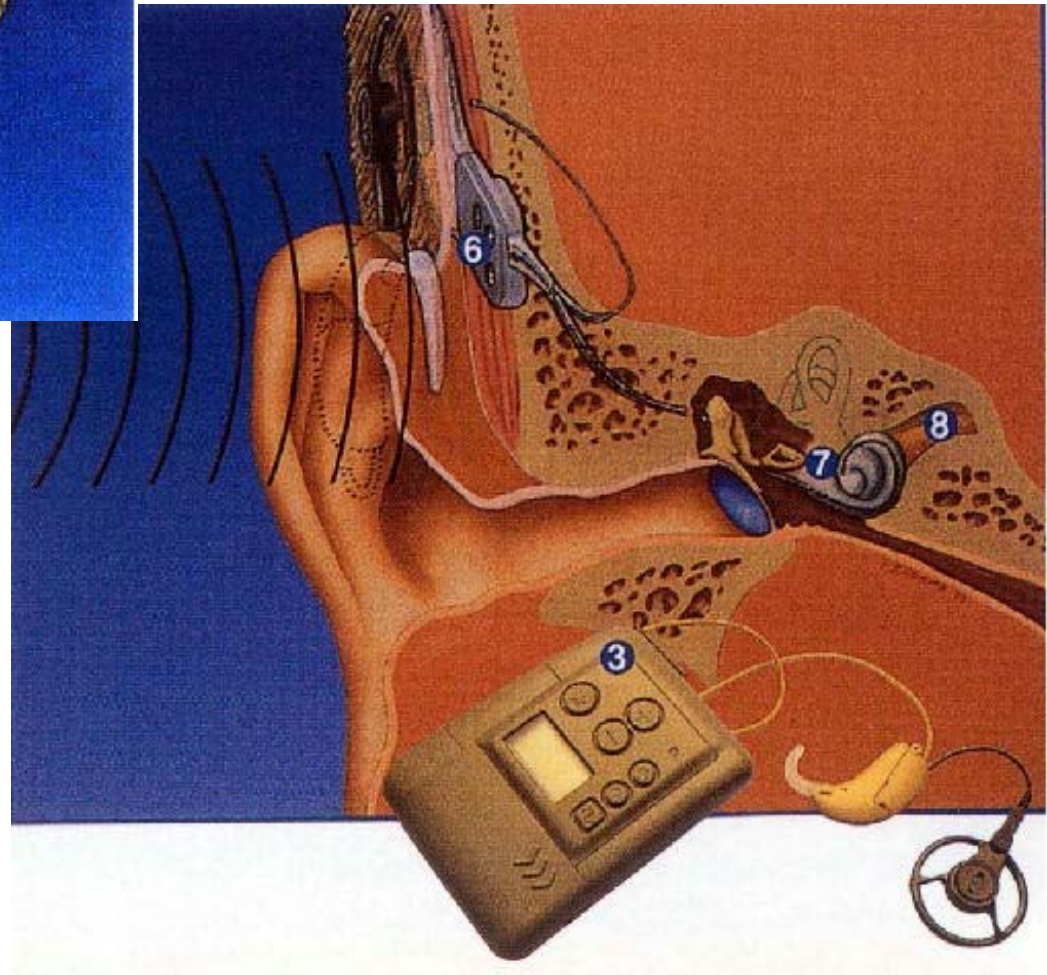
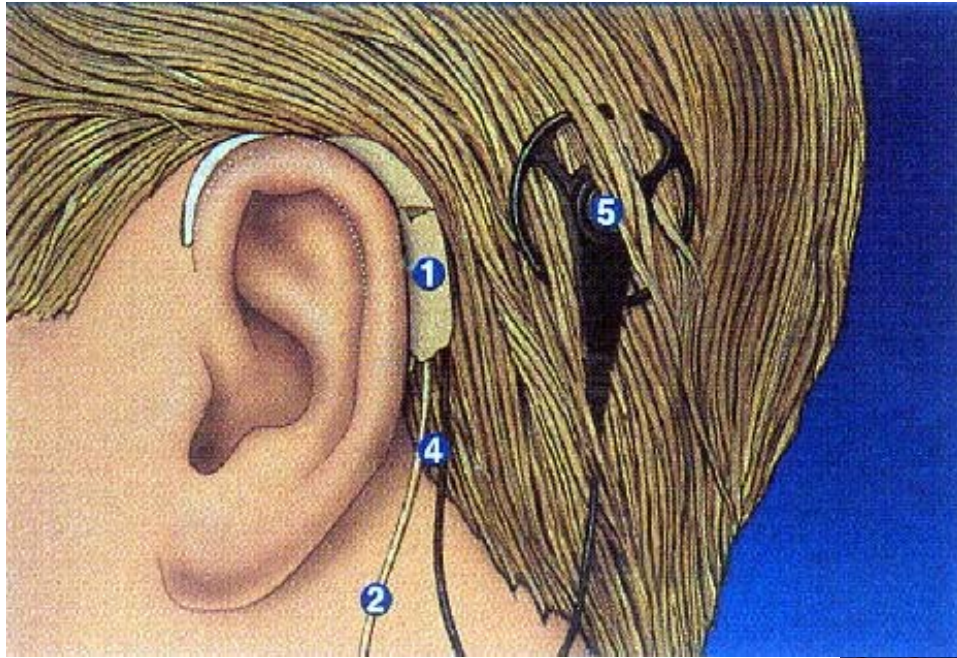
\*隣接県の聾学校・難聴幼児通園施設からの参加もある。

# 補聴器や人工内耳の装用指導

- ・ 補聴器について
  - －中等度 (40-80dB程度) 難聴に適応
- ・ 人工内耳について
  - －高度 (80-90dB以上) 難聴に適応

\* それぞれの適応範囲は重なっている部分もある

# 人工内耳の原理





# 外来でできる、BOAの材料

紙もみでのBOA (1-4kHz/30-40dB / 30Cm )  
(コピー用紙)

—これに気づけばあっても軽度難聴

鈴でのBOA (4kHz/60dB/1m)